

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標の達成度	事業地の障害児 160 人に車椅子を供与することによって、治療や教育を受けやすくなり、将来自立するために素地を育成助長する事が出来た。世話をする家族の負担も軽減し、家族全体の日常生活が改善された。
(2) 事業内容	申請書の事業内容に従って実施し、5月13日にハイズオン省の赤十字支部事務所において、同省人民委員会副議長、ベトナム赤十字本部・オレンジ財団理事、日本大使館一等書記官など約60名が出席し、子供たち代表に車椅子が供与された。贈呈式後、2名の障害児自宅に直接車椅子を直接送り届けた。 時間的な問題があり、計画していた車椅子の補修セミナーは開催できなかったが、ベトナム語に翻訳した写真付きの補修マニュアルをもとに赤十字の担当者と補修方法の確認を行い、彼らから父兄へ伝達をすることになり、冊子に加えてCDも手渡した。 各車椅子に日の丸の付いた当会のロゴのステッカー（5×8cm）を貼付した
(3) 達成された成果	今回供与した車椅子160台のもたらず裨益者数は家族や世話をする専門職員を含めると640人に該当する。車椅子を使って障害児が戸外に出て日光浴をすることは骨の成長には欠かせない効果を与え、戸外の空気に触れることによる精神的なバランス効果もある。また、屋内で使用する在位保持の車椅子を使用することで子どもが正しい姿勢を維持する訓練ができ、家族も子どもから手を放して家事をすることができるようになり、抱きかかえなくても移動が可能となるなど、子どもの世話をする人たちの負担も大きく軽減されることとなった。
(4) 持続発展性	ベトナム赤十字は車椅子を貸与した父兄との間に維持管理に関する契約書にサインを取り交わしている。また、破損や故障した時は修理に必要な部品が現地で入手できない場合は、当会が負担して赤十字経由で支給する。 一年後には維持管理のモニタリングを行う。 将来子どもが成長して車椅子が適しなくなった場合は、次の子どもに渡せるよう、赤十字が車椅子の管理を確実にを行うことをあらためて確認した。